

老人福祉センターの建替えにかかるワークショップ開催結果

◆ ワークショップ開催の目的

老人福祉センター、中央コミュニティ・センター（以下「老人福祉センター」）は、老人福祉の増進を図ることを目的に昭和50年に開館し、多くの方に親しまれてきました。

しかしながら、経年による老朽化が進んでいることから、建替えに合わせ、児童館機能や子育て支援機能を併せもつ、元気で活動的な高齢者をはじめ、子どもたちや外国人など多世代等が集うための拠点となる多世代等交流施設として整備することとしました。

公共施設の整備及びマネジメントを市民との協働を進めていくにあたり、新施設の整備方針の企画段階で市民ニーズを把握し、市民の意見、要望を反映した整備計画とするため、多世代等交流施設の活用について（新しい施設でやってみたいこと）に関するワークショップを開催しました。

◆ 開催日時及び参加人数

| | |
|----|--------------------------|
| 日時 | 10月22日（土） 13：30～16：00 |
| 場所 | 老人福祉センター 2階 実習室 |

公募市民や古知野高校の生徒さん、20歳の集い実行委員さんなど併せて**15人の参加者**と市職員、江南市社会福祉協議会職員の参加により開催されました。

参加者は、世代毎にA～Cの3つのグループに分けられました。

◆ 公共施設の現状と課題、建替えの概要

最初に、江南市の公共施設の現状と課題、老人福祉センターの建替えの概要について、財政課職員より、人口減少や厳しい財政状況などによる公共施設の更新問題、新施設建設の考え方などを説明しました。

【新施設建設の考え方】

○財務（お金）、品質（機能）、供給（広さ）

バランスが重要 ⇒ 自分の家を考えるのと同じ！

○「施設」ではなく、「サービス」の視点で！

「ほしいモノ、あったらいいもの」ではなく、「必要な機能（コト）」を考える！

例、図書館（モノ） ⇒ 本を読む、借りる（コト）

プログラム

- 1 はじめに（5分）
- 2 公共施設の現状と課題、
建替えの概要（約10分）
- 3 老人福祉センター内見学（約20分）
- 4 ほぐほぐタイム！（約15分）
（アイスブレイク）
- 5 おしゃべりタイム！（約60分）
（グループワーク）
- 6 休憩（10分）
- 7 発表・共有（15分）
- 8 全体のふりかえり・まとめ（5分）

◆ ほぐほぐタイム！

○ほぐほぐタイム！では簡単なゲームを行い、社会福祉協議会の伊藤さんに参加者の皆さんの緊張をほぐしていただきました。

脳トレとミニゲーム「紙コップタワー」で「笑顔」が見え始め、自然と会話も生まれました。紙コップタワーは3グループとも8段まで積み上げました。



◆ おしゃべりタイム！

○おしゃべりタイム！で、多世代等交流施設の活用について（新しい施設でやってみたいこと）話し合っていただき、その結果について発表していただきました。

テーマ1 「活動してきたこと。興味のあること。」

これまで取り組んできたこと、今興味のあることについて一人ひとりが意見を出し合います。

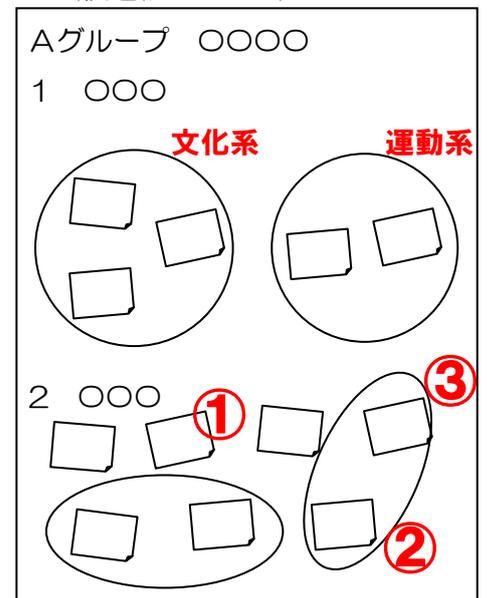
テーマ2 「新しい施設でやってみたいこと、
参加してみたいイベント」

どんな「モノ（施設）」が欲しいのかではなく、
どんな「コト（機能）」をしたいのかを考えていただき、
一人ひとりが意見を出し合います。

○優先順位の選定

テーマ2で出された意見から「面白そう」、「ワクワクする」、
「ぜひやってみたい！」と思うものを、3つ選びます。

▼（模造紙イメージ）



◆ 開催の様子



◆ グループの意見・発表

テーマ「新しい施設でやってみたいこと、参加してみたいイベント」

A グループ (先輩世代) : チームレジェンド

グループ1人ひとりの意見(抜粋)

- ・ 海外の方を含む三世代交流スペース
- ・ 乳幼児と高齢者のふれあいサロン
- ・ 商店街と連携
- ・ ロータリーの役割の児童館
- ・ 室内型公園 (ボールプールなど)
- ・ フリーマーケット
- ・ 運動、軽いダンス
- ・ カフェこ～なん復活
- ・ 75歳まで就労



1. ロータリーの役割の児童館
2. 公共交通、コミュニティバスの運行
3. 75歳まで就労



◀ 「活動してきたこと。興味のあること。」

◀ 「新しい施設でやってみたいこと、参加してみたいイベント」

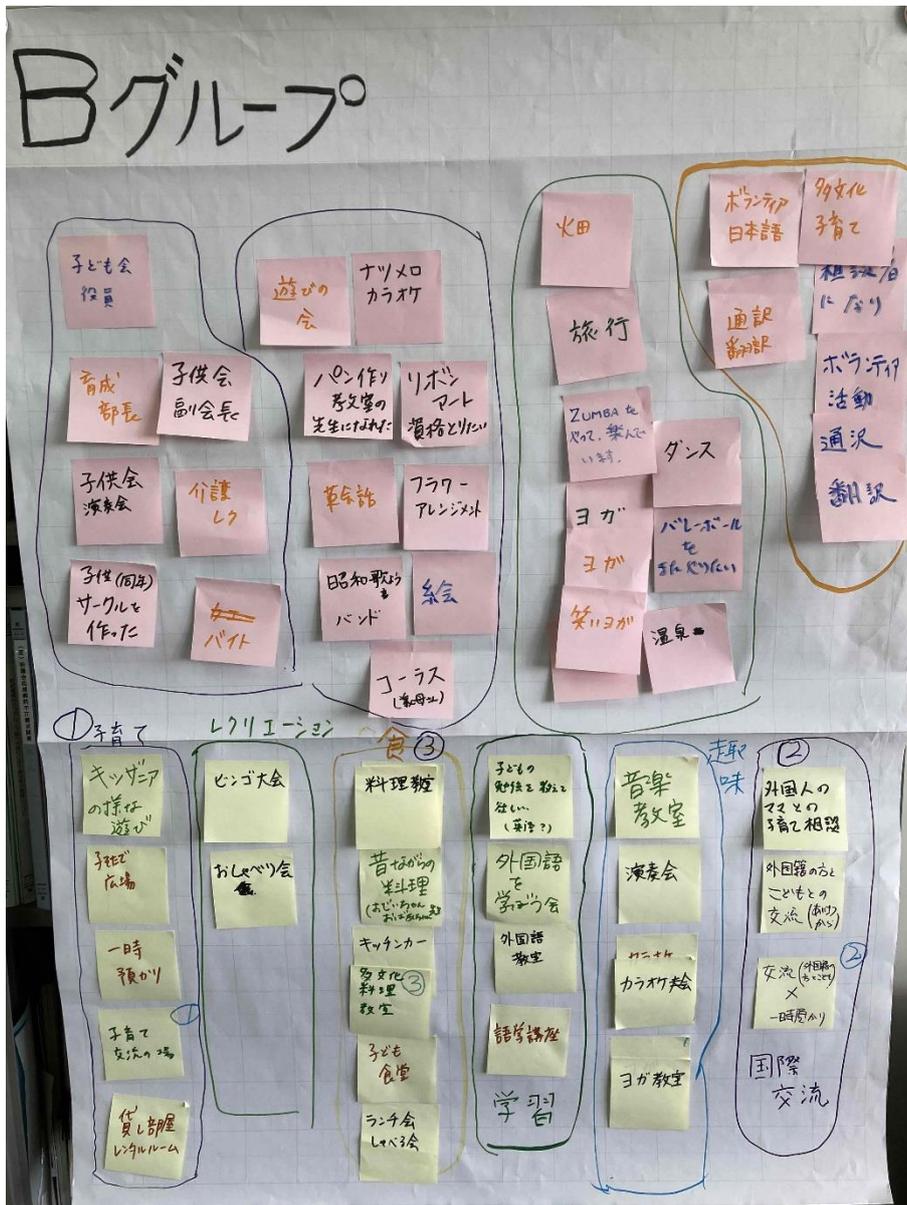
B グループ (社会世代) : チーム THE 主婦

グループ 1 人ひとりの意見(抜粋)

- ・ キッズニアのような遊び
- ・ 子育て交流の場
- ・ ビンゴ大会
- ・ 多文化料理教室
- ・ 昔ながらの料理
- ・ 語学講座
- ・ 音楽教室
- ・ 演奏会
- ・ 交流(外国の方と子ども)×一時預かり

優先順位
選定

1. 子育て交流の場
2. 交流(外国の方と子ども)×一時預かり
3. 多文化料理教室



◀ 「活動してきたこと。
興味のあること。」

◀ 「新しい施設でやってみたいこと、
参加してみたいイベント」

C グループ (学生世代) : チームピッチピチ

グループ1人ひとりの意見(抜粋)

- ・無償で学生が、小中学生に教える場所
- ・自習室
- ・ふれあい動物
- ・推しコミュニティ
- ・多国籍交流
- ・キャンプ、BBQ 場
- ・就職情報
- ・赤ちゃん体操
- ・子どもを見てくれる

優先順位
選定

1. 多国籍交流
2. 自習室
3. 子どもを見てくれる



◀ 「活動してきたこと、
興味のあること。」

◀ 「新しい施設でやってみたいこと、
参加してみたいイベント」

◆ まとめ

今回のワークショップは、「合意形成ではなく、多様性を認識してもらう」という目的で行いました。世代ごとに様々な意見、アイデアが出され、同世代の中でもいろいろな考えがあることを知ることができたと思います。

1人ひとりの意見の中では、『こどもと高齢者の触れ合い』、『外国語教室』、『カフェ』など、多世代交流や国際交流についての意見をどの世代からもいただきました。

先輩世代や社会世代の参加者には、幅広い活動をしている方も多く、それぞれの経験や体験を踏まえた意見をいただきました。学生世代からは、『無償で学生が、小中学生に教える場所』など、将来の目標などから新施設でやりたいことを考えてもらうことができ、各グループの特色のある意見をいただく結果となりました。

各グループによる素晴らしい発表に、それを聞く他のグループからは大きな拍手が送られました。

◆ 講評

3つのグループに分かれ、少人数で話し合っていたので、みなさんから色々な意見が出され、大変有意義な時間になりました。

市役所からは、4つの課の職員が参加しましたが、多世代等交流施設の企画、運用にあたっては、縦割りで考えるのではなく、横の連携をとりながら、市民のみなさんと一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。参加者のみなさん、ありがとうございました。